

監査委員告示第7号

地方自治法第199条の規定に基づく監査結果の公表について

令和3年10月22日

木津川市監査委員 西井 正
木津川市監査委員 柴田 はすみ

定期監査結果について

地方自治法第199条第4項の規定により、同条第1項及び第2項に規定する事務の監査を実施したので、同条第9項の規定により下記のとおり公表します。

なお、本監査は木津川市監査基準に準拠して行ったことを申し添えます。

記

1 監査執行年月日 令和3年10月1日（金） 午前11時00分から

2 監査対象部局及び監査の対象

マチオモイ部 学研企画課

(1) 庁内LAN維持管理事業について

・テレワーク環境の構築経過及び現在の状況がわかる資料

(2) RPA導入に係る効率化等の状況について

・令和2年度に導入した事業の実績や令和3年度の進捗状況

・これまでの導入効果がわかる資料

(3) 令和元年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

(4) 令和2年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

マチオモイ部 観光商工課

(1) 現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費について

・事業概要、事業遂行過程（予定価格・事業者決定方法・契約金額の妥当性）、事業の成果と効果の検証、今後の方針等がわかる資料

(2) お茶の京都DMO協議会負担金について

・事業の概要、負担金の積算根拠、これまでの成果と効果、活動実績等の事業報告等がわかる資料

(3) 令和元年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

(4) 令和2年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

マチオモイ部 農政課

(1) 林業振興事業費について

- ・山城町森林公園の指定管理者の最新の収支決算書
- ・休業補償料の算出根拠資料
- ・令和元年度の執行目標達成状況における利用料の見直し等を検討及び自立した維持管理体制構築の状況がわかる資料

(2) 地産地消の取組状況について

- ・地産地消率を高めていくための新しいシステムづくりの進捗状況がわかる資料

(3) 令和元年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

(4) 令和2年度定期監査意見の取り組み状況について（調査票）

3 監査の方法

監査対象事項に係る内容及び執行状況等について、提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取による方法で実施した。

4 監査結果

歳入歳出予算の執行状況をもとに監査対象部局の財務に関する事務の執行について監査を行い、併せて当該部局における所掌事務の執行状況について提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取し監査を実施した結果、監査を行った範囲内においておおむね適正であると認められた。

なお、一部の事務について、次のとおり意見を述べる。

また、監査の際に見受けられた軽微な事項については、記述を省略した。

【学研企画課】

庁内LANに接続できるテレワーク環境の導入については、導入価格が適正であることが市民に対して説明できる資料を整理されたい。

テレワークやウェブ会議などの新たな取り組みも進んでいることから、引き続きセキュリティ対策に取り組み、個人情報などの情報資産の保護に努められたい。

AI-OCR・RPA導入は、職員の作業時間の削減を目指して実施されており、削減効果が表れるのは二年ないし三年後とのことだが、削減された事務量がどのように有効活用されたか、また、業務の効率化、コスト削減、人為的ミスの低減に繋がったことがわかる総合的な資料を作成されたい。

【観光商工課】

お茶の京都DMO事業は、地域の活性化などを目指した事業として多額の費用を支出している。事業実施については、分担金や構成市町村のバランスなどを考慮し、市の要望事項（予算を含めて）が反映されるようお茶の京都DMOと意見調整を図られたい。

【農政課】

山城町森林公園について、指定管理者（山城町森林組合）の収支が適正であるか引き続き確認されたい。

農（みのり）で頑張る協議会については、地域農業の振興及び地産地消の推進、販売力・ブランド力の強化を図ることを目的に国の交付金を活用して、5年間補助金を交付した団体であるが、現在も実態として市（農政課）に協議会の事務局がある。協議会として市から自立した組織として運営されるよう早急に改善策を検討されたい。また、更なる地産地消への取り組みが推進されるよう期待する。